

2018年度 【自己点検・評価委員会】PDCAサイクル表

Plan	Do	Check	Action
<p>自己点検・評価活動の基本方針</p> <p>短期大学基準協会の評価基準に基づいた自己点検・評価活動を実施し、教育・研究活動等の改善・向上に向けた取り組みを行う。</p>	<p>短期大学基準協会の評価基準に基づいた自己点検・評価活動を実施し、教育・研究活動等の改善・向上に向けた取り組みに努力した。</p>	<p>自己点検・評価活動を実施し、教育・研究活動等の改善・向上に向けて努力したが、まだ改善の余地が考えられた。</p>	<p>引き続き、自己点検・評価活動を実施し、教育・研究活動等の改善・向上に向けた取り組みに努力していく。</p>
<p>建学の精神を周知・点検する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全人教育講座・同アンケートを実施して、周知を図った。 ・新入生オリ時の学長講話を実施した。 ・合宿交流研修時の学科長講話を実施した。 ・講師会の準備時、当日の説明資料となる建学の精神について点検した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座受講者全員が合格点に達したことから、1年生全学生に建学の精神の周知できた。 ・卒業時学生アンケートからは全人教育について、さらなる周知の徹底が必要なことが明らかになった。 ・卒業時学生アンケートからは全人教育について、さらなる周知の徹底が必要なことが明らかになった。 ・建学の精神は、現代にも通じる教育理念であることを確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、全人教育講座育・同アンケートを実施してより一層の周知を図る。 ・引き続き、新入生オリ時の学長講話を実施するとともに、同アンケートを実施して、より一層の周知を図る。 ・合宿交流研修時の学科長講話・同アンケートを実施して、その効果を点検・改善していくことで、一層の周知を図る。 ・建学精神周知について、点検を続けていく。

教育目的・目標を点検する。	<ul style="list-style-type: none"> ・食物栄養学科の開設準備に伴って、各学科の教育目標の点検を実施、学科間で相違がある書式を統一した。 	① 3学科の教育目標の書式が統一された。	① 引き続き、教育目的・目標を点検していく。
規程を点検する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学科の教育目標に係る規程を改定した。 ・内部質保証体制を導入するために宇都宮共和大の組織規程を参考にした 	① 3学科共通の学科の教育目標となった。	① 改定した規程により、内部質保証の運営を実施していく。
教育・研究活動を点検する	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の資質向上を図るために FD 研修会を実施した。 ・「授業アンケート（学生）」を実施、その結果を踏まえた「授業改善アンケート（教員）」を FD 報告書にして、教員の教育資質向上を図った。 ・FD 研修の一環として、コンプライアンス研修を実施した。 ・「SD 研修」を実施して、事務職員の資質向上を図った。 ・紀要への投稿を促した。 ・専任教員会議等の機会を捉えて外部研究費獲得を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・FD 研修会のアンケート結果からは、教員の資質向上に役立ったことが確認できた。 ・「授業アンケート（学生）」を実施（前期7月末、後期1月末）の結果は、概ね好評だった。FD 報告書に記載した「授業改善アンケート（教員）」では、各教員とも、来年度からの授業の工夫等が述べられた。 ・コンプライアンス研修のアンケート結果からは、教員の研究倫理に関する理解がより、深まった。 ・「SD 研修」を実施し、その成果を教授会で報告した。 ・紀要への投稿は、昨年より若干、少なかった。 ・外部研究費（科研費）獲得は、1件であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き FD 研修会を実施して教員の資質向上を図っていく。 ・引き続き「授業アンケート（学生）」や「授業改善アンケート（教員）」の実施により、教員の教育資質向上を図っていく。 ・引き続き研修会等を通してコンプライアンス意識やモラルの向上を図っていく。 ・引き続き、「FD 研修」を実施して、事務職員の資質向上を図っていく。 ・引き続き、紀要への投稿を促していく。 ・引き続き、外部研究費獲得を促していく。

2018年度 【地域福祉開発センター】PDCAサイクル表

Plan	Do	Check	Action
<p>1. 地域・社会に向けた公開講座、生涯学習事業、正課授業の開放（リカレント教育を含む）等を実施している。</p>	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回リカレント教育のためのピアノ研修会（2月） ・音楽療法士専攻コースリカレント教育（5月～年間5回） <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士国家試験対策講座（9月～1月） 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施し、好評であった。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の参加者は2名であった。 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施を検討する <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施するかどうか検討する。
<p>2. 地域・社会の地方公共団体、企業（等）、教育機関及び文化団体等と協定を締結するなど連携している。</p>	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光英国・イタリア大使館別荘記念公園コンサート（8月） ・つかもとランチタイムコンサート（3月） ・高大連携授業 ・宇短附高校生活教養科2年生「子どもと音楽」（5月～10月） <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設新任職員研（栃木県社会福祉協議会（4月） ・とちぎ子どもの未来創造大学講座（栃木県教育委員会）（7月（1）・8月（3）） ・高大連携授業 <ol style="list-style-type: none"> 1) 宇短附高校（5月・7月・2月（2）） 2) 益子芳星高校高大連携授業（8月） 3) わくわく春の大学体験講座（3月） ・「食物栄養学科」開設記念公開講座（2月） 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施したがいずれも好評であった。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果は、いずれも好評であった。 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施を検討する。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施を検討する。

<p>3. 教職員及び学生がボランティア活動等を通じて地域・社会に貢献している。</p>	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Tiny(障害幼児と親子のつどい) (5月～) ・ 栃木県済生会宇都宮病院緩和ケア病院でのミニコンサート (5月～) ・ 日本赤十字社足利赤十字病院 ・ K'きつず 児童発達支援・放課後デイサービス ・ 上都賀総合病院 認知症カフェアタージュ ・ 社会福祉法人 正栄会 南の里クリスマス会 (12月) ・ 宇都宮市医療型児童発達センター (かすが園) (2月) ・ 認定 NPO 法人 うりずんクリスマス会 (12月) <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生のボランティア活動 (7月～) 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施し、大変、好評であった。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全般的にボランティア活動数が少ない。 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き実施を検討する。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学生にボランティア活動の意義を説明して、ボランティア活動の参加を促進する。
--	---	--	---

2018年度 宇都宮短期大学【教務委員会】PDCAサイクル表

Plan	Do	Check	Action
1. シラバス点検	「授業概要」や「到達目標」と教育目標、学習成果との整合性を図った。また、シラバスチェックの方法について、改善を図った。	Do の部分のチェックを入念に行ったが、一部の教員のシラバスにまだ遵守されていない部分があった。	次年度以降、シラバス依頼時に注意事項の徹底を図っていく。 講師会等でも、この件を徹底するよう、時間等を設け周知を図っていく。
2. 「学生の卒後評価に係る就職先施設聴き取り調査」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の社会福祉専攻、介護福祉専攻専攻の卒業生の就職先の聴き取り調査のほかに、医療事務履修卒業生の就職先についても、新たに調査項目、実施方法を検討し、2カ所の病院の聴き取り調査を実施した。 ・「ホームカミングデー in UJC！」やリカレント教育に特化した質問項目や、次年度以降のこれらの実施に向け、有効な実施方法や内容を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴き取り調査を行った施設・病院からは、本学卒業生について高評価を得ることができたが、いくつかの課題も明らかになった。 ・実施せず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明らかになった課題については、改善すべく、カリキュラムに反映していく。 ・引き続き次年度以降に実施できるよう、内容等を検討する。
3. GPA導入の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・GPAを算出した。その際の「GPAの用途」や「P(ポイント)」の妥当性についても検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・算出したGPAを教務委員会議に提出、それぞれの検討を行い、課題を確認し、2019年度からの本格的に運用を目指していくことにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPAの用途や成績評価について、引き続き検討し、来年度から本格導入することにする。
4. ポートフォリオの導入検討	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオによる評価結果については課題も明らかになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、音楽科独自のポートフォリオのあり方を検討していく。

	<p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は実施しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオについて、検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き次年度以降に実施できるように、内容等を検討する。
5. 「カリキュラムマップ」の策定準備	<ul style="list-style-type: none"> ・両学科とも専任教員会議との協議で次年度以降の導入について検討した。 <p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カリキュラムマップ」を策定し、シラバス作成において運用を開始した。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カリキュラムマップ」「カリキュラムツリー」を策定し、シラバス作成において運用を開始した。 <p>【食物栄養学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カリキュラムマップ」「カリキュラムツリー」を策定し、シラバス作成に利用した。 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カリキュラムツリー」の作成が課題である。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カリキュラムマップ」「カリキュラムツリー」の使い勝手が課題である。 <p>【食物栄養学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用の評価は、次年度以降に実施する。 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度、「カリキュラムツリー」を策定する。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年以内に社会福祉士・介護福祉士のカリキュラム変更が予定されている。それをにらみながら引き続き検討していく。 <p>【食物栄養学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降、運用していく。
6. 「新専攻（新学科）」の新設準備	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度新設予定の「食物・栄養学科（主務官庁認可申請中）」のカリキュラムを策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置認可があり、2019年度の開設が決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科や取り巻く社会状況を見ながら将来の学科のカリキュラム等の検討を行っていく。

2018年度 宇都宮短期大学 【入試・広報委員会】PDCAサイクル表

Plan	Do	Check	Action
1 入学定員の充足に向けて引き続き、高校生の進路に関する動向を把握する	<ul style="list-style-type: none"> ・春の大学体験講座、高校訪問を実施した。 ・業者主催ガイダンスに参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスや相談会に来談した生徒の出身校や各高校の進路状況を学生募集支援システムへ入力し、状況把握をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学生の出身校や進学見込みの可能性のある高校を中心に引き続き進路動向を把握する。
2 学校案内および入学試験要項の作成、ホームページの更新をし、入学者受け入れ方針を明確に示す	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神、教育目的・目標、学習成果、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針について、学校案内、入学試験要項、ホームページに掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバス、学生便覧、ホームページなどに掲載する各ポリシーの順番を合わせた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新、2020年版学校案内に掲載する。WEB出願にする。
3. 入学者受け入れ方針に対応した入学者選抜を校正かつ適切に実施する	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AO入試、推薦・特待生入試、一般特待生入試を実施した <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AO入試、指定校推薦入試、公募推薦特待生入試、特待生入試、一般入試、社会人特別入試、センター試験利用入試を実施した。 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設2年目となる吹奏楽アンサンブルコースの入学者が継続している。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募推薦特待生入試、社会人特別入試、一般入試I期については受験者が少なかった。 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽アンサンブルへの広報を継続する。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募推薦特待生入試を見直し入試制度を検討する。
4. 授業料、その他入学に必要な経費を明示する	<ul style="list-style-type: none"> ・授業料、その他入学に必要な経費について、学校案内、入学試験要項に掲載した 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学科の設置に伴い、改めて全学科の掲載項目を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度の学校案内に明示する。

5 受験の問い合わせ等適切に対応する	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ガイダンス・相談会、オープンキャンパス、土曜学校見学会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学会対応を見直した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校見学会は随時実施に変更する。
6 奨学金等、学生への経済的支援のための制度を検討しPRする	<ul style="list-style-type: none"> ・人間福祉学科において入試特待奨学金制度について、授業料免除制度に加え、2019年度入試から入学料免除制度を新設した(音楽科は導入済み。) ・入学後の奨学金制度について、従来のダイヤモンド奨学金制度、知識力奨学金制度に加え、一人暮らしスタートアップ支援金支給制度を新設した。 ・学園入試説明会、高校訪問にて高校の進路指導部へ説明した。オープンキャンパス、進学ガイダンスでは生徒や保護者に直接説明した。 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特待生入試について、奨学金制度により、他大学と併願の上で本学に入学するケースも見られ、有効なPRができています。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募推薦特待生入試の受験生が少なかったため、入試方法を検討した。 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年制音楽大学との経済的負担の比較などで、引き続きPRしていく。 <p>【人間福祉学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募推薦特待生入試で選抜する地域キャリア奨学金制度を廃止し、指定校推薦入試に地域創生奨学金制度を導入する。
7 入学定員の充足に向けて、引き続き募集活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの入学者実績等から重点校等を中心に高校訪問を実施した。 ・食物栄養学科PRのため、県立高校の進路実績を分析し、高校訪問を実施した。 ・音楽科は県内外の音楽関係者から情報収集し高校訪問を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスでの相談者を含め重点校を検討した。 ・設置認可後、9月から募集活動を実施した。 ・音楽活動の盛んな高校の情報を収集した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学生の出身校や進学見込みがありそうな高校を中心に引き続き募集活動を行う。
8 入試広報活動で得られた情報について引き続き管理し共有	<ul style="list-style-type: none"> ・進学ガイダンスや高校訪問等入試広報活動で得た情報を学生募 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点校を検討する際に、入力結果を参考にした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・募集活動に活かすため引き続き管理し共有する

する	集支援システムに入力し、情報共有した。		
10 入学手続き者に対して授業や学生生活に関する情報提供引き続き行う	・12月、2月に事前学習課題を送付、4月からのオリエンテーション、3月の春の大学体験講座の案内を送付した。	・入学生に必要な情報について検討した。	・授業や学生生活に関する情報提供引き続き行う
11 高大連携授業について、これまで実施した授業内容、附属高校の出身学科を分析して実施する	【音楽科】 ・音楽科教員による附属高校生活教養科との連携授業「子どもと音楽」を実施した。 【人間福祉学科】 ・入学生を増やすため、附属高校応用文理コースにおいて、各専門分野に共通するコミュニケーションをテーマに実施した。	・次年度は、新学科のPRも含めて内容を検討した。	【音楽科】 ・附属高校での短大教員による音楽講座を企画する。 【人間福祉学科】 ・引き続き医療事務、福祉、栄養の各分野に興味をもてるよう実施する。
12 短大評価基準の新基準について周知する	・今年度、勉強会を実施できなかった。		・引き続き検討する。

2018年度 宇都宮短期大学 【学生生活委員会】PDCAサイクル

Plan	Do	Check	Action
<p>1. 充実した学生支援を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿交流研修→全体会での音楽科による合唱において、本学教員による自作曲を披露した。 ・彩音祭でのメインコンサートでは、ピアノ3台による Piano Carnival を実施した。 ・学生邦楽フェスティバル等、本学生への依頼演奏に対し積極的に参加した。 ・レクリエーションフェスティバル、交通・生活安全講話、学友会総会、同窓会関係、卒業記念アルバム、サークル、ボランティア、クリーンキャンパス、学生健康管理、学生便覧、学生アンケートの実施と集計などを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿交流研修の改善点を踏まえ、次年度の全体会の進め方を検討する。 ・各行事（レクリエーションフェスティバル、交通・生活安全講話、学友会総会、同窓会関係、卒業記念アルバム、サークル、ボランティア、クリーンキャンパス、学生健康管理、学生便覧、学生アンケートの実施と集計）についても委員で検討する。 ・学生の演奏機会を増やし、学生支援と地域連携となる演奏会企画を検討する。 ・学生便覧については、食物栄養学科新設に伴い内容の統一を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生支援を継続的に充実させる。引き続き音楽科・人間福祉学科の学生便覧の内容の統一を図る。
<p>2. 「学生生活に関する調査」を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在学生に対して「学生生活に関する調査」(入学時)の改善点について意見を聴取した。また、「学生生活に関する調査」(卒業時)も改善点も意見聴取した。 ・「学生生活に関する調査」(入学時)を一部改訂した(建学の精 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物栄養学科新設に伴い、質問項目を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「学生生活に関する調査」を実施する。

	神の項目)。		
3. 教育研究備品、施設については、年次計画に従い行う。	・食物栄養学科新設に伴い、設備、研究室の整備を実施した。		・引き続き、教育研究備品、施設の充実を図る。
4. キャンパスアメニティについても、学生の希望を聞きつつ、充実していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・学友会総会などの要望により、適宜必要な備品を設置。 ・音楽科学生相談室に学生が利用するためのコピー機を設置した。 ・Wi-fiの整備を行った。 ・学生を対象とした多くの演奏会情報を掲示し、入場券等の配布を行った。 	・アンケート、事務局の年次計画と併せて検討する。	・キャンパスアメニティについても、学生の希望を聞きつつ、充実を図る。
5. 学生が学びやすい環境を整えるために、「こころとからだの相談室」を設置する。	・「こころとからだの相談室」を開室した。	・相談実績を踏まえ、改善点を検討する。	・「こころとからだの相談室」を継続して行う。相談予約の仕方について、直接訪問を加える。

2018年度 宇都宮短期大学 【キャンパスハラスメント委員会】PDCAサイクル

Plan	Do	Check	Action
<p>学生、教職員に対し、キャンパスハラスメント防止のための活動を行う。 また、キャンパスハラスメントの相談体制を引き続き円滑に運営する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在学生、新入生オリエンテーション時に、担当教員よりキャンパスハラスメントについての説明を行い、説明後アンケートを実施した。 ・同時に、キャンパスハラスメント相談員を紹介し、相談体制についても説明した。 ・性的マイノリティの理解のために、研修会を開いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果等を踏まえ、改善点を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスハラスメント防止のための活動を継続して行う。

2018年度 【研究・図書委員会】PDCAサイクル表

Plan	Do	Check	Action
<p>1. 図書館機能の充実と図書館の利用活用促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションや「全人教育講座」で、本学建学の精神に基づいた図書館の役割について説明した。 ・OPACによる全館検索の方法の周知を図った。 ・図書・資料等のリクエストを引き続き活用し図書館全体の利便性を高め充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き図書館機能の充実と利活用の促進を図っていく。 ・「全人教育講座」については、前年度中（2～3月）にスケジュールを組むこと。
<p>2. 学生の学習活動と教員の教育・研究活動の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備をすすめた。 ・「としかんかわら版」を活用し、図館資料の紹介と利活用を促進した。教務委員会と連携して、シラバス記載の参考書を整備し学習支援を行った。 ・日常の講義や演習（ゼミ）、卒論指導等で、アクティブラーニングによる図書館の利用と活用を図った。また、そのために必要な図書館資料等の整備を進めた。 ・視聴覚機材の点検を定期的に行い、常に最適な学習環境の整備を心掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね出来た。 ・概ね出来た。 <p>・数名の教員が授業で利用し、その効果を確認した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①②を引き続き実施していく。 <p>・日常の講義や演習（ゼミ）、卒論指導等で、アクティブラーニングによる図書館の利活用を、さらに促進する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス業務を通して他館や研究機関等との連携協力をした。 ・図書館司書の能力を高める研修を促進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の求めに応じて、他館とのレファレンス業務により、支援した。 ・学外研修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員のさらなるレファレンスによる外部図書館利用を促す。 ・図書館司書の学外研修を引き続き実施する
3. 新学科開設に伴う関連図書・資料の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・食物栄養学科に関連する図書・資料は、書店と契約を進め、納品・受入も開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約2,100冊、必要なすべての図書の配架を完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・逐次、必要に応じて購入する。

<p>新基準 研究関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員の研究活動（論文発表、学会活動、国際会議出席等、その他）は学科・専攻課程の教育課程編成・実施の方針に基づいて成果をあげている。 ・専任教員個々人の研究活動の状況を公開している。 ・専任教員は、科学研究費補助金、外部研究費等を獲得している。 ・専任教員の留学、海外派遣、国際会議出席等に関する規程を整備している。 ・事務職員（専門的職員等を含む）は、SD活動を通じて職務を充実させ、教育研究活動等の支援を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施の方針に基づいて成果をあげるよう努力した。 ・研究活動の状況を公開した。 ・科学研究費補助金を獲得した。 ・専任教員の留学、海外派遣、国際会議出席等に関する規程について、検討した。 ・SD活動を通じて職務を充実させ教育研究活動等の支援を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教員毎に努力して、学会報告や紀要投稿は実施しているが、教員によって、ばらつきがある。 ・国際学会への出席はなかった。 ・例年通り、HP上（研究者名鑑）で、個人の研究業績を公開した。 ・科研費研究の獲得は1本のみであった。 ・専任教員の留学、海外派遣、国際会議出席等に関する規程は検討したのみであった。 ・SD活動は随時、外部研修などに参加して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学会報告や紀要投稿をすべての教員に奨励する。 ・国際学会への出席を奨励する。 ・例年通り、HP上で個人の研究業績を公開していく。 ・引き続き、科研費研究申請を奨励していく。 ・専任教員の留学、海外派遣、国際会議出席等に関する規程を整備していく。 ・SD活動は引き続き、外部研修などに参加して実施していく。
--	---	---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究経費は経常収入の 20% 程度を超えている。 ・教育研究用の施設設備及び学習資源（図書等）についての資金配分が適切である。 ・学長は、学生の入学、卒業、課程の修了、学位の授与及び自ら必要と定めた教育研究に関する重要事項について教授会の意見を聴取した上で決定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究経費は経常収入の 27% となった。 ・教育研究用の施設設備及び学習資源（図書等）についての資金配分が適切になるよう努力した ・学長は、学生の入学、卒業、課程の修了、学位の授与及び自ら必要と定めた教育研究に関する重要事項について教授会の意見を聴取した上で決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね適切 ・出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き努力していく。 ・引き続き実施していく。
--	---	--	--

2018年度 宇都宮短期大学 【就職委員会】PDCAサイクル			
Plan	Do	Check	Action
1. 進路に関する総合的な支援体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンスを実施した。 ・進路希望調査および進路支援活動を実施した。 ・ハローワーク職員による学内就職相談を実施した。 【音楽科】 ・音楽系企業就職説明会を実施する。 【人間福祉科】 ・県社協主催「福祉の仕事フェア」に参加した。 ・学部学科の各種支援講座等の相互活用に関する検討をした。 【人間福祉科】 ・医療事務コースを新たに開設したので、医療事務に関わる進路のガイダンスに関する検討した。 ・SPI（自己性格）を継続して実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生ともに各クラスごとに一年間で3回、主にクラスアワーの時間に行った。学内サポート体制の説明、ハローワーク活用法などを説明した。 ・1年生に就職希望調査、2年生に就職活動調査を行った。 ・利用状況の集約を分析した。 【音楽科】 ・音楽系企業から講師が来校し説明を行った。開催時期を企業の募集に即した時期に変更した。 【人間福祉学科】 ・参加状況の集約を分析した。 ・共和大学と共同で保護者向け就職ガイダンスのトライアルを施行した。 【人間福祉学科】 ・医療事務コースの就職ガイダンスを開催した。 ・音楽科・人間福祉学科合同でのSPI実施は2年目となり、実施内 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施時期と方法等の継続検討 ・音楽系・福祉系に限らず、一般就職する学生が増えており、サポート体制の強化が必要である。 ・完全予約制で行う。（開催回数の変更、サポートの必要性について引き続き検討する） 【音楽科】 ・音楽系企業に就職した卒業生による説明の実施を検討する。 【人間福祉学科】 ・参加状況の集約をもとに引き続き改善検討する。 ・トライアル実施の結果を受けて2019年度本格実施する。 【人間福祉学科】 ・2019年度医療事務コースの就職ガイダンス開催に関する実施時期の検討と方法を継続検討する。 ・SPI診断内容について就職活動の実際の様子などを見据えた内容

		容について、業者と担当教員で検討した。	で実施できるよう、検討の必要がある。
2. 就職・進学ガイドブックの活用と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・就職・進学ガイドブックの改訂した。 ・2019年度に新開設される学科・食物栄養学科を含めた編集内容を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各科の就職活動に関する年間スケジュール表について検討した。 ・次年度新開設される食物栄養学科の就職・進学の情報収集について検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のニーズにあった新版のガイドブックの作成について検討する。
3. 就職キャリアに関する講座の開講と周知	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による「就職試験対策学内講座」開講した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全6回の就職試験対策講座を、音楽科・人間福祉科合同で開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生講話の実施の検討
4. 就職(進路)活動激励会	<ul style="list-style-type: none"> ・就職(進路)活動激励会の企画と実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮共和大学と宇都宮短期大学の合同で開催し、学長・学部長・学科長の講話を聞き、就職活動への意識・意欲を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催時期、内容等を改めて検討し、就職へのより高い意識の啓発に努める。

2018年度 宇都宮短期大学運営・財務PDCA報告（案）

Plan	Do	Check	Action
<p>I 基本方針 大学運営に関する方針 1) 大学の理念・目的をもとに 将来を見据えた中期目標・中期計画等の実現 2) 財務・運営・管理について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者増加による財務の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中期経営計画達成のための追加施策の明示立案。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等教育無償化申請の準備を行う ・ 中期計画の年次見直し ・ 中期経営計画終了時の赤字幅の圧縮のための施策立案
<p>II 施策 運営・財務について SD活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「大学運営・財務に関する目標と計画」において中期計画の達成度の年次評価を実施した。 ・ 年間を通じて各部署ごとに各種セミナー、研修会に参加して、参加内容を持ち帰り、学内で報告会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらなる収支改善に向けた課題や方策が明確になっていない。 ・ SD活動の改善としては、大学運営を中心的に担う教員や学長等の大学執行部についても、大学運営に係る知見獲得に向けてのSDを実施することが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学運営・管理等を一層明確化し、内部質保証体制を適切に整備した上で内部質保証推進組織のもとで、改善・向上に取り組んで行く。 ・ 規程の改正 ・ 収支改善に向けて、具体的な数値目標を明示した中・長期の財政計画を策定する。 ・ 各機関同士のネットワークを活用して、人的ネットワークの構築もすすめ、特にFD・SDの連携を充実させ、強化を図る。

<p>事務組織の改善</p>		<p>2 キャンパスの意思疎通の更なる円滑化を図る (入試広報の連絡調整を含む)</p>	<p>・全学アドミッションセンターの設置 (広告媒体の対応、对外広報 (SNS 等)、高校訪問・各種相談会 (ガイダンス) への参加出席)</p>
----------------	--	--	---